

国のトップリーダーには 明確なアイデンティティが 求められる

在仏コラムニスト 安部 雅延



総裁選びに海外は違和感

安倍前首相の健康問題による突然の辞任は、過去の日本の首相の中で最も世界に存在感を示した政権だっただけに衝撃を与えた。アメリカのトランプ大統領も安倍氏を世界で最も頼りにする国家元首としていたことが知られている。

しかし、その後のポスト安倍で官房長官だった菅氏が後任に急浮上した時点で、日本との関係を重視する米国のワシントン・ポスト紙は、次期首相はカリスマ性のない「ミスター調整役」と早くも評した。

無論、米国の大統領史にも、暗殺などの事情で副大統領が大統領ポストを受け継ぐ例はあるが、副大統領はいつでも大統領に代わり核のボタンを押せる重責を受け継げる人物が想定されている点では、日本とは大きく異なる。

ワシントン・ポスト紙は次期総理は総裁選前「政界の実権を握る年若い少数の男たちの手によって決まる」と書いた。アメリカからすれば民主主義とは相いれない摩訶不思議な動きだが、「年老いた少数の男た

ち」とはいいい得て妙だった。フランスのリベラシオン紙は、組閣メンバーを「古い友人の集まり」と書いた。

そもそも日本と欧米では国や組織のリーダーシップは大きく異なる。意志決定者の役割の意味合いが強い欧米のトップリーダーに求められるのは、明確なヴィジョンと決断力、実行力と責任感だ。

トランプ大統領は「アメリカを偉大な国にする」が政策ヴィジョンの中心だった。オバマ政権でアメリカの存在感が薄れ、「ただの国」になりつつあった中、伝統保守の福音派が信じる「神によって準備された最も世界で偉大な国」の威信を取り戻すことで共感を得て当選した大統領だった。

対中外交を精鋭化するのも、中国がアメリカの高度な技術を盗み、世界の工場を自負しながら、そこから世界の最先端の技術を強引に入手し、世界制覇のために限りなくアメリカを追い上げるからだ。公約に明らかに沿ったものだ。

アメリカでは旧約聖書の出エジプト記に出てくるイスラエル民族をエ

ジプトから脱出させ、荒野で彼らを率いたモーゼを理想のリーダーに譬えたりする。誰もが共感を持つ明確な方向性を示し、強い決断力と実行力で全体を率いるのが正しいリーダーシップと考えられている。

一方、日本では長年「調整役に徹する人間こそ、組織の優れたリーダー」といわれてきた。農耕社会の村では強いリーダーより状況を理解する調整役に徹する人間が重宝されたからともいえる。いわゆる「落とし所」が分かるリーダーだ。

政治は最もその国の国民性が表れるもので、それも古い体質を引きずるものだ。「年老いた少数の男たち」の口から出たのが「菅さんは安倍首相の女房役として、これまでの状況や流れを最も理解している人物なので、コロナ対策やオリンピックを考えると病気で辞める安倍首相の政策継続という意味で適任」というのが説明だった。

なんとなく納得させられる説明だが、実はこれは国家の方向性を決めるトップの意志決定者としてのリーダーの役割を極めて軽んじた考えともいえる。リーダーシップがなくと

国家のヴィジョンは？



常識への依存度の高いハイコンテクストの日本社会では、情報共有しているつもりで状況共有して

いる傾向がある。情報は一旦共有すれば終わりだが、常に変化する状況を共有することに重点が置かれることから世界に類まれなほど日本は会議が多い。

安倍政権は中国が苛立つような明確な日本のヴィジョンを持ち、さらには日本の生命線といえる日米関係でも、トランプ大統領に対して言いたいことははっきり言う姿勢を貫いた。摩擦を避けるために国益を犠牲にするリーダーではなかった。

米ウォールストリートジャーナル紙が「安倍首相は愛国者であると同時に日本には珍しい外向き政治を

行った」と評価した。実は今、一国の命運は一国だけで決められる状況にはない。国際性は個人の資質によるところが大きい。たとえば、国際性ゼロの韓国の文在寅大統領などは国際的孤立を深めている。

菅氏が本格政権をめざすには、名番頭を脱して国の名経営者になる必要がある。経営学の神様といわれたドラッカーは「名経営者の陰に名番頭あり」といった。しかし「名番頭こそ名経営者になれる」とはいつていない。状況判断して実務だけがやれても名経営者にはなれない。

菅氏にとつてのヴィジョンは、安倍政権がやり残した政策課題を解決していくことであって、自らのオリジナルなヴィジョンはデジタル庁の創設、官僚の縦割り行政、前例主義を撤廃し、官邸主導で政策を実現することだと語っている。

だが、それは手段の改革であって、重要なのはヴィジョンや政策、とりわけ国家のヴィジョンを決める日本のアイデンティティの明確化だ。欧米では個人としてのヴィジョンのないリーダーはありえないが、日本では状況に精通し、前任者のヴィジ

も、安倍政権のヴィジョンがあり、政界の実権を握る年老いた男たちが精一杯新政権を支えるので大丈夫というわけだ。

国家ヴィジョンで脱番頭

菅氏が本格政権をめざすには、名番頭を脱して国の名経営者になる必要がある。経営学の神様といわれたドラッカーは「名経営者の陰に名番頭あり」といった。しかし「名番頭こそ名経営者になれる」とはいつていない。状況判断して実務だけがやれても名経営者にはなれない。

菅氏にとつてのヴィジョンは、安倍政権がやり残した政策課題を解決していくことであって、自らのオリジナルなヴィジョンはデジタル庁の創設、官僚の縦割り行政、前例主義を撤廃し、官邸主導で政策を実現することだと語っている。

菅氏にとつてのヴィジョンは、安倍政権がやり残した政策課題を解決していくことであって、自らのオリジナルなヴィジョンはデジタル庁の創設、官僚の縦割り行政、前例主義を撤廃し、官邸主導で政策を実現することだと語っている。